

The Third "English and Cross-culture Seminar" Application Guideline

1 事業趣旨

自分の考えを英語や日本語で論理的に発信できる人材の育成を目的としたインプット型研修を沖縄科学技術大学院大学(OIST)で実施します。

午前中は OIST 研究者やスタッフと英語のみでコミュニケーションを図る他、与えられたテーマについてグループで英語によるディスカッションを行います。また、参加者の将来へのキャリアゴールを考える機会として英語による OIST キャンパスツアーに参加し施設や研究室を見学し、イングリッシュランチョン研修を通して多文化に触れるなど、学びへのモチベーションに繋がります。

午後は、21 世紀型スキルとされている「批判的思考力」を高めるためのグループワークを日本語で行い、グループプレゼンテーションを通して物事を相手に論理的に伝えるための基礎を学びます。

2 実施概要

(1) 実施日時：2019年10月19日(土) 9:30~16:00 (9:15現地集合)

(2) スケジュール概要(予定)：

9:15	OIST Meeting Room 1 へ集合
9:30 ~ 9:50	【講義】英語力を高めるためのセミナー(日本語)
9:50 ~ 11:45	OIST 研究者やスタッフとの研修交流会・ディスカッション(英語)
11:45 ~ 13:00	OIST 研究者やスタッフとのキャンパスツアー・イングリッシュランチョン研修(英語)
13:00 ~ 16:00	【グループワーク・ディスカッション】批判的思考力を高めるためのグループワーク(日本語)
16:00	OIST Meeting Room 1 にて解散

(3) その他

- ・終日研修に参加できることが要件となります。研修日が学校行事などと重なっていないかどうか、事前に確認の上、応募して下さい。(学校行事への参加優先を推奨しております)
- ・学校行事と重なった上で、本セミナーに参加希望される場合において、当財団から学校あてに参加者の「公休願」や「生徒派遣依頼」等の発行は行いません。また本セミナーは参加者の自己啓発を主の目的としているため、「セミナー参加証明書」等の発行もいたしません。
- ・当日遅刻または欠席される場合は、担当者へ必ず事前にご連絡下さい。
- ・参加者は、私服でご参加下さい(制服やスーツで参加する必要はありません)
- ・当日はOIST関係者と昼食を頂きます。昼食の持参をお願いします。(会場で昼食を購入できますが混み合うため、昼食をとる時間が十分ではない可能性があります)
- ・語学力について問いませんが、積極的に外国人とコミュニケーションを図りたいと考える方や、参加者とのネットワーク構築に意欲的な方からの応募をお待ちしております。

3 募集人数 20名程度

4 募集要件

終日研修に参加できることを前提に、英語や異文化理解に興味を持つ高校生から大学生

5 応募方法

◆オンライン申請

(1) 当財団HP (<http://kokusai.oihf.or.jp>)内にあるオンラインフォームより参加申し込みの手続きを行って下さい。申し込みの際は、必ず「完了」の画面まで確認してください。

(2) 申請期限

2019年8月19日（月）～ 10月3日（木） 17時（必着）

(3) 応募者への通知について

・募集定員を超える場合、早めに募集を締め切る場合がありますので、参加希望者は、早めにお申し込み下さい。

・参加の可否に関して、**10月10日（木）までに応募者全員に郵送にて通知**いたします。

(10月11日（金）以降、通知が届かない場合、当財団国際交流課まで必ずお問い合わせ下さい)

6 研修中における遵守事項

(1) 事業の趣旨を理解し、研修中は財団職員の指示に従って下さい。

(2) 公共の場におけるマナーに注意を払い、行動して下さい。

(3) 集合時間など、時間厳守でお願いします。

(4) 勝手に帰宅しないこと。帰宅を希望する場合、財団職員に事前に知らせて下さい。

(5) 研修中は必ず定められたグループで行動し、指定された研修場以外へは行かないで下さい。

7 その他留意事項

(1) 本募集により収集した個人情報、本事業に関する連絡、案内及び選考のほか、本事業の実施のために使用いたします。また、これらの情報は、本事業の円滑な実施のため事業関係者に提供することがあります。なお、その場合においても、収集した情報は、使用目的の範囲内で適切に取り扱います。

(2) 公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団では、ウェブサイトやパンフレット、ポスター等の広報媒体において事業に関する広報活動を行っております。事業内容を沖縄県民や関係機関にできるだけ具体的に表現するため、参加する皆さまの肖像（写真や動画など）を広報媒体に掲載させていただくことが非常に有効な手段であると考えております。皆さまの肖像の広報誌などへの掲載について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。